

広
報

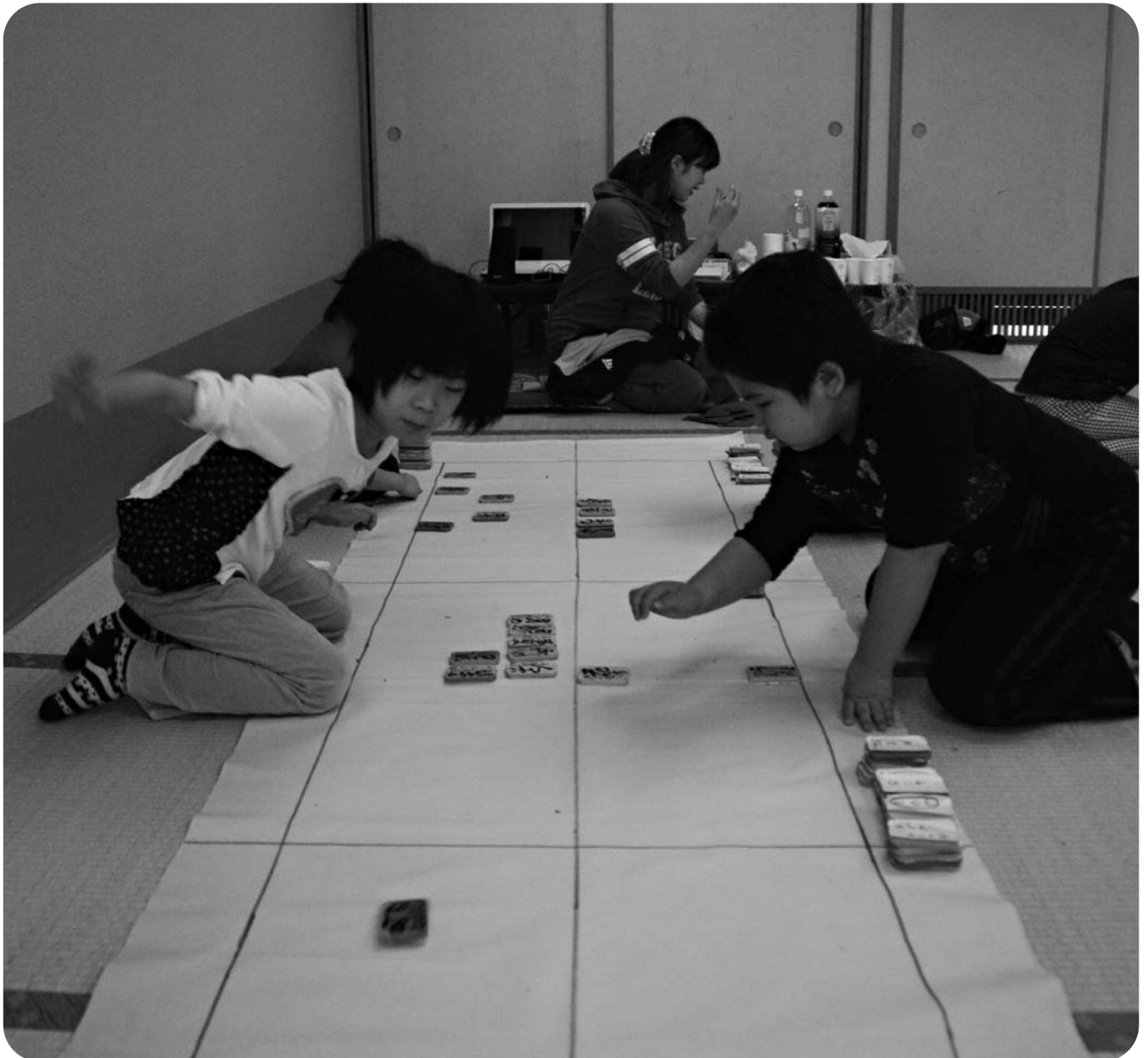
びらとり

2013 年

1

No.621

新年あけましておめでとうございます



(びらとり白兔かるた会 12/9)

今月号は…

- 年頭のごあいさつ
- 2012年 びらとりの一年
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

謹賀新年

年頭のごあいさつ



平取町長 川上 満

じるとともに早期復興へ心からお祈り申し上げる次第です。

この震災はエネルギー確保問題を国全体に投げかけ、昨年末の衆議院議員総選挙においても大きな争点となりました。当町においても新エネルギーの活用を図るべく学校の太陽光発電施設の整備、家庭用太陽光発電設備導入補助、ペレットストーブの普及促進、防犯灯のLED化などへの取組みを行い、地域の活性化と同時に社会全体の節電に貢献してゆく所存です。

さて、昨年の日本は政治が混迷を極め、国全体に閉塞感が漂う状況となりました。しかしながら当町においては、再検討とされていた平取ダム建設決定、特産品である「びらとりトマト」の39億円を超える販売北海道肉牛共進会での1位入賞、米の豊作、各種スポーツ団体の全国大会出場など、多くの明るい話題が飛び込んできたことは喜びにたえません。このことは町民の皆様のたゆまぬ努力によりもたらされたものであり、心から敬意を表する次第です。

町政については、皆さまのご協力をいただきながら、計画的で効率的な行政運営を目指し、これまで取組んできた行財政改革や、第5次総合計画の策定などが、基金取崩しや実質公債費比率の抑制につながるなど、その成果が徐々に表れてきているところです。

迎えました本年についても、国政の方向性が見えない中ですが、町民の皆様のご期待に沿うよう、自治基本条例の精神に則り「協働」のまちづくりを目指して全力を尽くしてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしい良き一年となりますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

輝かしい希望に満ちた新春をご家族共々健やかに迎えることとお慶び申し上げます。
また、日ごろより町行政の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年日本は、東日本大震災にみまわれ大きな悲しみに包まれました。しかしながら被災地が復興に向けて着実に歩んでいるその姿を報道などで目にするとき、あらためて計り知れない人間の底力とたくましさを感じ

初春をお慶び申し上げます

町議会	議長	鈴木修二
同	副議長	安田功二
同	議員	丹野信一
同	議員	藤澤佳宏
同	議員	山田一明
同	議員	貝澤真澄
同	議員	平村公子
同	議員	松澤以久子
同	議員	四戸正彦
同	議員	櫻井幹也
同	議員	松原俊幸
同	議員	千葉良則
代表監査委員		山田和博
農業委員会		福山昭三郎
教育委員		本間稔浩
選挙管理委員長		遠藤裕昭
公平委員長		佐々木孝
国保運営協議会長		安田功二
民生児童委員協議会長		池川和男
副町長		泉澤敏裕
教育長		松本周次

(議席順)

2012年 びらとりの一年

- 1月
- 平取消防出初式（本町）
- 第4回シシリムカ文化大学成人式



- 2月
- 初午祭
- 義経雪あかり
- 全道PKグランプリ（96チーム約800人参加）
- 高齢者三大学合同学園祭
- シシリムカアイヌ文化祭
- 身体障害者福祉協会交流会
- びらとりトマト栽培40周年・販売高40億円達成記念祝賀会

- 3月
- まちづくり町民講座「びらとろん」
- 高齢者三大学合同修了式
- 川奈野一信氏・貝澤雪子氏アイヌ文化奨励賞受賞祝賀会
- 平取町高齢者虐待の防止を考える町民の集い

- 4月
- 沙流川流域住民フォーラム2012
- 平取ダム建設工事の継続と早期完成を求める総決起大会
- 貫気別中学校卒業式（平取中学校へ統合）

- 5月
- 町民交通安全の日開始
- 高齢者三大学合同入学式

- 6月
- 振内親子ハイキング
- グリーンフェスティバル
- フラワータウンフェスタ
- 振内町民ラジオ体操100日大会

- 7月
- すずらん観賞会
- 平取町長選挙投・開票
- 平取町長選挙当選証書授与式



- 8月
- マンロー先生を偲ぶ会
- 貫気別ファミリーフェスティバル

- 9月
- モンキーリバーランド夏まつり
- 小林組動物園（10周年）
- カーボンオフセットによる植樹祭（ホームマック）
- 全町老人スポーツ大会
- 幌尻まつり

- 10月
- 義経神社例大祭
- チブサンケ
- ふれあい広場



- 11月
- ホッカイドウ競馬平取町長杯「平取義経特別レース」
- 戦没者追悼式
- びらとり沙流川まつり
- ふるさと給食「シパラランチ」試食会
- シシリムカ文化大学
- アシリチェプノミ

- 12月
- 全町老人の集い
- びらとりトマト和牛フェア2012
- 障害者支援施設すずらん収穫祭

- 1月
- 文化祭
- 功労者等表彰式
- 振内文化協会設立40周年記念式典
- 平取ダム建設工事の継続と早期完成を求める総決起大会
- 木幡サチ子氏アイヌ文化賞受賞祝賀会

- 2月
- 三町村身体障害者福祉協会交流会
- 女性の集い
- 平取町生活・介護サポーター養成講座
- まちづくり住民大会（俳優…中尾彬氏講演）



- 3月
- ボランティアの集い
- フォークフェスティバルin平取
- アイヌ文化教室（昔の遊び体験）
- 平取高校の未来をつくる会
- 機動職業訓練入学式

まちの広場

(すずらのまち びらとり)



栄えあるアイヌ文化賞を受賞!!

二風谷 木幡サチ子さん (11/10)

幼少時代からアイヌ語を主とし、多くのアイヌ文化を背景に育ってきた木幡さんは、貴重な口承文芸の語り部として、全国各地の行事にも積極的に参加し、アイヌ文化に精通した存在として高く評価されています。このたび、アイヌ文化振興・研究推進機構より、最高位である「アイヌ文化賞」が贈られました。

この日は、民族文化への貢献をたたえ、約120名の関係者や地元の人が集まり、受賞祝賀会が盛大に行われました。

交流で協会相互の発展を

三町村身体障害者福祉協会交流会 (11/11)

日高町、占冠村、平取町の3町村の身障協会員が一堂に会して、中央公民館で交流会が行われました。

平取町保健福祉課より、「認知症とはどういうものか」を講話いただき、参加者は真剣に聞き入っていました。

その後、安平町の全盲で知的障害の重複障害者で結成されたバンド「スマイル4Beat」の演奏に、会場一体になって盛り上がり、楽しい交流会となりました。



高校生が特産品新レシピを披露

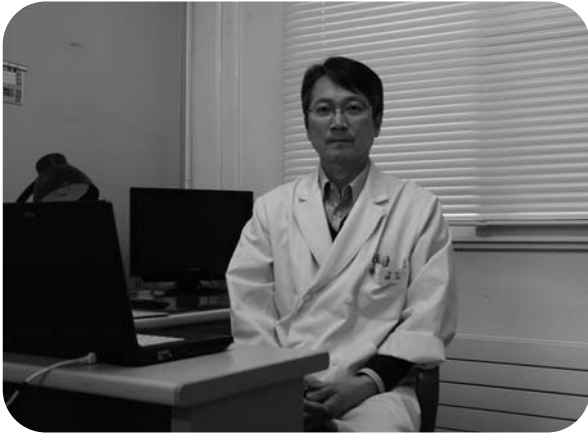
北海道平取高等学校 (11/15)

今年で2回目となった高校生によるトマトを食材にした新レシピ試食会が平取高校で行われました。食材を提供しているJA平取町仲山組合長より挨拶をいただき、町、商工会や関係者ら15名が参加しました。

一品ずつ考案した生徒の説明を受けながら試食を行い、全6品が披露され、なかにはお店のメニューとしても行ける!との声もあがるほど、完成度の高いものもありました。

最後に「びらとり地産地消の会」山口尚之さんより総評をいただき、自らも「くろべこ」を運営しているプロの目線で、食材の扱い方を丁寧にアドバイスいただき、生徒もさらに創作意欲が増していたようです。





常勤の内科・外科の先生が着任 平取町国民健康保険病院

国保病院に12月より、常勤の内科・外科を担当していただく藤井陽一先生が着任しました。

毎週月・火・木曜日は国保病院で、水・金曜日は振内診療所で診察を行います。

藤井先生は、「だんだん歳をとってくると、持病をもつものですが、日常生活を充実していただき、病院では、地域医療に貢献できるよう努めていきたい」と今後の抱負を話していただきました。

町長が訪問しました！

町長との対話「ひぎ・びらとり」を開催してきましたが、この度、発展した形を模索し、町長自ら訪問することを視野に、貫気別よちよちサークルの開催日に町長の訪問が実現しました。

これまで都合が合わなかった方も、育児環境整備、子育て支援の制度説明について、和やかな雰囲気の中で対話しました。

また、1%まちづくり事業の採択を受けた「いわちしパソコンくらぶ」（平取町高齢者ITクラブ）への訪問も行い、若者と積極的に交流しながら高齢者がパソコンを操作している姿や、クラブで購入したタブレット端末に触れながら、今後のIT展望などを懇談しました。



11月28日 いわちしパソコンくらぶ訪問



11月8日 貫気別よちよちサークル訪問



クリスマスカラーに彩られた
赤と青のトマトジャム

◆ おいしいジャムができました ◆

岩知志加工クラブシルバークリーン会では、通年を通して、味噌や豆腐といった手づくりの加工品を製造してきました。3年前からは、びらとりトマトを使ったジャムも制作し、完熟トマトと、赤くなる前の清々しい青いトマトを使った「クリスマス」をイメージさせるジャムのセットが、町内の商店や山の駅ほろしりで販売されています。単品でも購入でき、1ケ450円。

岩知志加工クラブでは小瓶に詰めた、お洒落な「トマトジュース」や、料理に使える「ホールトマト」の販売も目指しており、今後も手づくりの美味しい製品の完成に目が離せません。

教育委員会からのお知らせ

外国語活動通してコミュニケーション能力の素地を養うために

振内小学校で3年間継続しての授業研究会

昨年度からの新学習指導要領全面実施にともない、小学校では第5・第6学年で年間35時間の「外国語活動」が実施されていますが、振内小学校では、平成22年度から指導計画の整備とともに学級担任と英語指導助手(ALT)等との効果的なチームティーチングの在り方を求めた研究・研修が継続して行われています。

今年度も11月2日(金)に5・6学年の合同授業をもとにして研究協議が実施されました。

「基本的な外国語の音声に触れ、慣れ親しみ、友達との関わりを大切にしたコミュニケーション活動を積極的に行おうとする態度を養う」という目標に照らして“こうありたい”“こうならないように留意する”という視点で活発に意見交換が行われ、

また、ALT等との連携については、授業前後の打ち合わせや授業場面での役割、子どもとの関わり方について参加者全員で意見交換を行い、指導者間のコミュニケーションの大切さを再確認しました。



5・6学年合同外国語活動「好きなもの、ほしいもの、やりたいことを伝えよう」の授業風景

実践体験から学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感

中学2年生が町内17事業所で職場体験学習

10月末、各中学校では2年生48名が参加し、町内17事業所の協力を得て、職業や仕事について実際に体験したり、働く人々と接したりする職場体験学習を実施しました。

こうした取り組みは、現在、全国97%以上(平成22年度)の公立中学校で行われており、①自己の理解と望ましい勤労観、職業観の育成 ②学ぶこと、働くことの意義の理解 ③進路意識の伸長 ④職業・社会生活に必要な知識、技術・技能の習得への関心 ⑤社会の構成員として共に生きる心や社会奉仕の精神の涵養等の面で子どもたちにもその意義を実感できる活動となっています。



❖消防で働くことは

「…消防の人たちは火災でも水害でも関わってくる。例えば火災では、建物が焼け、中に人がいると救助しに行かなければならない。そうした場合、自分の命とその救助される人の命を両方助けなければならない。つまり、絶対に助けるという強い気持ちがなければならない。もし、その気持ちがなかったら、いくら技術があっても、いざ火の海に入ると恐怖で、訓練でできていたことでもできなくなると自分はそう思う。」

平取中学校2学年 及川智己さん

家族のふれあい大切に事故なく楽しい冬休みを

年末から新年へと忙しい時期ですが、子どもたちに家族の一員としての役割を与え、家族のふれあい、語り合いの場を工夫しましょう。また、事故などに巻き込まれないよう十分気をつけましょう。



●第 33 回平取町女性の集い

女性の集いが 11 月 15 日に 260 名の参加により、開催されました。

「みんなのほほえみ」と題して、平取町包括支援センターを知るところを目的に、寸劇を取り入れながら、介護保険制度の仕組みや、どう利用すれば良いかの方法を説明しました。



芸能発表 JAフレッシュミズ



介護保険の手続き方法を寸劇で紹介

参加者からは「知らないことが沢山あり、勉強になった」と好評でした。

この他、大正琴の演奏に合わせ、参加者全員が合唱したり、舞踊、ダンス、歌など、嗜好をこらした衣装で会場をわかせた芸能発表、チャリティーバザー等がありました。学習し、歌い、笑いと楽しく満足した一日を過ごしました。

●「町づくり住民大会・交通安全住民の集い」

明るく住みよい地域づくりを目指す「町づくり住民大会」が 11 月 18 日、町自治振興会の主催により中央公民館で開催されました。特別講演では、俳優の中尾彬さんによる「人生、中尾流～生きる楽しさ」のトークショーが行われ、「好きなことがあった方が良い」、「仕事がりハビリ。今の 70 代は昔と比べ 10 歳は若い。色々なものに興味を抱くことが若さの秘訣」と中尾流の価値観を妻の池波志乃さんとの微笑ましいやり取りを気取らずユーモアたっぷりに披露しました。



このほかに、交通安全講話やミュージックライブなどが行われ参加された方々は楽しい時間を過ごしていました。

席上、住民運動功労、交通安全功労の表彰が行われ、各受賞者に表彰状と記念品が贈られました。また、町商工女性部から来春新入学児童に交通安全を願って「愛の鈴」の贈呈もありました。

- 住民運動功労 向井 光雄（長知内）、高野 博光（紫雲古津）、去場自治会住民運動推進部（去場）
- 交通安全功労 15 年特別表彰 / 川端 春夫（振内町）、10 年 / 木田 眞一（去場）、日川 敏雄（長知内）、齋藤 武（振内町）、5 年 / 南雲 シゲ子（苧菜）、岩瀬 篤（本町） ▶敬称略

～文化サークル紹介～

◆平取朗読会 マルメロ

平取朗読会マルメロは、本好きな人たちの集まりです。月に一度、岡本好子先生の指導を受けながら、朗読の練習をしています。決して難しいものではありません。会員の一人ひとりの個性が楽しく発揮される場所です。

「先生の朗読を聞いた後の、おしゃべりが楽しみです」と代表の杉岡さんが言っていました。

一緒に楽しみませんか。お待ちしております。

活動日 毎月第 3 月曜日（18:30～20:30）

活動場所 中央公民館第 1 研修室

《会員募集中》 連絡先 杉岡 良子（☎ 2-4275）

創立年	平成 20 年
代表者	杉岡 良子
会員数	8 名



教育委員会からのお知らせ

町民の体づくり・コミュニティづくり ～学校開放事業～

週休2日制の定着による余暇時間の増加、さらには本格的な高齢社会の到来など、近年の社会情勢の変化とともに町民のスポーツニーズは多様化してきており、健康・体づくりはもとより、生きがいづくりや地域のコミュニティの形成にスポーツを取り入れる傾向が顕著になってきています。

このことから、教育委員会では学校教育に支障のない範囲で小中学校の体育施設を町民の皆様に開放しています。



旧荷負学校開放の様子
(荷負スポーツクラブ)

● どの学校で開放していますか？

紫雲古津小学校、平取小学校、二風谷小学校、旧荷負小学校、平取中学校の5校で開放事業を行っています。

● 使用時間は？

原則、平日の午後7時から午後9時までです。

● 利用されている団体は？

各地区の団体が利用しています。紫雲古津小学校では、紫雲古津ミニバレーボール同好会、紫雲古津テニポン同好会、平取中学校では、本町テニポン部、飛鳥（ママさんバレー）、ポックルズ、ファミリーズ（以上、一般バレー）が活動しています。

他の学校においても成人団体やスポーツ少年団が利用しています。

● 学校開放でどれだけ利用していますか？

昨年度は、平取中学校他4校において開放事業が行われ、開放日数は述べ444日、利用人員は7,129人もの多くの皆様に利用されています。

● 利用したいのですが？

団体の利用となります。このため、個人利用は出来ませんので、活動をしている団体にお問い合わせください。

なお、利用団体への連絡方法は町民体育館（☎ 2-2749）にお問い合わせください。

～利用されている方の声～ 紫雲古津ミニバレーボール同好会長 川奈野 時子さん

学校開放事業が始まる前は、年数回の本町地区の大会に出場したりするだけで定期的に身体を動かす機会が少なかったです。

しかし、開放事業が始まったことにより、紫雲古津にミニバレーボール同好会が誕生しました。後に、若い人も加入し、そして隣の地区の方々も練習に参加するようになり、楽しく運動しています。週にもう1日開放してくれると嬉しいですね。



紫雲古津小学校開放でミニバレーボールを楽しむ同好会のメンバー

博物館でのアイヌ文化学習

二風谷アイヌ文化博物館には、これまで町内小・中学校、養護学校からたくさんの児童、生徒が授業の一環として訪れています。

常設展示品の多くは、国重要有形民俗文化財に指定されており、沙流川流域の生活を知るための標識的な資料となっています。北海道随一の豊富さを誇るこうした民具を実際に観察して、郷土学習に活用する取り組みがたびたび行われています。

■博物館の見学を通して地域の文化を学ぶ

博物館では、地域にある衣・食・住とその移り変わりを具体的に学ぶ場として、情報発信に努めています。ひとつの道具が、いつ・どこで・何に使われたかを追って調べていくのも、郷土学習ならではの試みといえます。

特に小学校高学年以上になると、学習内容をより深めるために生徒によるしっかりとした調査が求められます。総合学習の発表会や壁新聞などの成果をみると、子どもたちの鋭い観察眼に感心させられることもしばしばあります。

■体験学習を通して暮らしの移り変わりを学ぶ

遊び体験や生活道具体験を直接行えるのも、博物館の醍醐味のひとつです。実際に動きを伴うことで、ものの働きや仕組み、質感などを学ぶことができます。

衣服の試着やイタドリの笛などのほか、博物館の屋外で弓矢、輪投げを行なうこともあります。

■地域住民との交流

アイヌ口承文芸や暮らしの移り変わりを、地元に住む古老から直接聞かせてもらうこともあり、世代を超えた交流は、子どもたちの現代社会に生きる力を育みます。

最近では、家庭において、祖父母から昔話を聞かせてもらうことも少なくなりました。アイヌ語の話を直接聞くことで、多文化社会の意味や重要性を考える機会にもなっていくのではないのでしょうか。



博物館の展示見学を通して地域の文化を知る
(振内中学校)



チセでアイヌの昔話を聞く(貫気別小学校)

✦今後のアイヌ文化学習

博物館でのアイヌ文化学習は、学校での授業時間やバス移動の制約上、年に何度も行うことができません。従って学んだ成果を何度も繰り返しながら、徐々に身につけていくことが大事になります。もちろん学年による習熟度の違いも把握していく必要があります。

教育委員会として、担当の先生と打ち合わせをしながら、より良い効果が得られるよう、今後も取り組んでいきます。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

—保健福祉課—

平取町食育推進計画事業

『ニシパランチ・保育所』

—振内保育所昼食会より

食育推進計画の大きな三本柱「人づくり」「健康」「地産地消」の『地産地消』実践計画として『ニシパランチ推進事業』があります。

学校給食や町内飲食店での取組を含め、昨年より広く事業が展開されています。

その一環として、今年度2回目を迎える常設4力所の保育所を対象とした「ニシパランチ」が、11月30日に実施され、今年度は振内保育所に、町長をはじめ、食育推進計画運営委員数名がお邪魔して、子どもたちと一緒に楽しく昼食を食べました。



手話を取り入れた、元気な「いただきます」のあいさつの後、子どもたちの笑顔があふれました。

ソースのかかった黒豚のハンバーグや羽釜で炊いた美味しいお米、ちよつと苦手な野菜のサラダも競い合うように食べる姿がとても印象的で、「おかわりー」「全部食べたよー」という子どもたちの声がとても誇らしげに響いていました。

その日の保育園手帳には『ニシパランチ』の出席シールが貼られました。



【ニシパランチの献立】

《びらとり黒豚ハンバーグ》

《シヤキシヤキサラダ》

《じゃがいもと》

小松菜のコンソメスープ》

《平取産米ななつぼし》



平取産のお米や黒豚、じゃがいもに小松菜などの農畜産物をはじめ、もみじ味噌やトマトピューレなどの加工品も使われています。

この献立は、町内で働いている栄養士が集まった、平取町職域栄養士連絡会のメンバーが作成したものです。

栄養士連絡会では、さまざまな職域で働いている栄養士同士の情報交換、また、旬カレンダーの作製や飲食店のニシパランチ栄養計算など、平取町の食育推進事業に関するさまざまな取組についての活動を行っています。

—旬の食材で一品—

【長芋の塩昆布酢和え】

材料（4人分）

- 長いも 150g
- 水菜 1株
- 板かまぼこ 60g
- 塩昆布 10g
- 白ごま 大さじ1
- 酢 大さじ1/2
- 砂糖 小さじ2
- しその葉 2枚



- ①長いもは皮をむいて太めのせん切り、水菜は水洗いし、根元を切り落とし、長いもと同じ長さに切りさつと下ゆでする。板かまぼこも同じ長さに切る。しそは細切りにする。
- ②ボウルに塩昆布、酢、砂糖を入れ、混ぜ合わせる。
- ③②のボウルに①の具材を入れ、さつと和える。
- ④器に③を盛り、白ごまをちらす。

図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

- 『旅猫リポート』／有川浩
- 『歓喜の仔』上・下／天童荒太
- 『けさくしゃ』／畠中恵
- 『宿神』3・4巻／夢枕獏
- 『オチケン探偵の事件簿』／大倉崇裕
- 『ブルーマダー』／菅田哲也
- 『繚乱』／黒川博行
- 『路(ルウ)』／吉田修一
- 『作家ソノミの甘くない生活』
／群ようこ
- 『人生の旅をゆく2』／よしもとぼなな
- 『夢追い漫画家60年』
／藤子不二雄A



【家庭・生活・趣味】

- 『昔ながらの常備菜と浅漬け』
／松本忠子
- 『もっとたっぷり!やさい流』
／有元葉子
- 『板チョコ1枚から作る
かわいいチョコレートのお菓子』
／若山曜子
- 『ちいさなキャンドルクラフト』／福岡乃梨子



【社会・経済・その他】

- 『学歴・競争・人生 10代の
いま知っておくべきこと』／吉川徹
- 『学校へ行く意味・休む意味
不登校ってなんだろう?』／滝川一廣



1月の休館日

1～6・14・15・21・28日

2月の休館日

4・11・12・18・25日



～としょかんトピックス～

10月23日・24日、平取中学校2年生の小西功貴君・二谷美咲さんが、職場体験学習で図書館の仕事を経験しました。

団体貸出用の本を選んだり、傷んだ本の補修をしたりと、様々な内容の実習に頑張っており、取り組んでくれました。



貸し出し用の本を選ぶ

体験学習では恒例となっている絵本の読み聞かせで、緊張したことと思いますが、「子どもたちが喜んでくれてうれしかった」「話が伝わるように読むのが難しかった」と、それぞれの感想を伝えてくれました。



本の補修作業

2日間の体験学習、お疲れ様でした。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【1月】

10日（木）【貫気別地区】

- 10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
- 11:30～12:00 貫気別生活館
- 13:15～13:45 芽生生活改善センター
- 14:00～14:30 旭生活館

11日（金）【振内地区】

- 11:00～12:00 山の駅ほろしり館
- 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
- 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードなしでも、ご利用できます。
- 貸出期間は、次の巡回日までになります。
- 本の返却、不用になった本のご寄贈も受け付けます。



■トマトキーマカレーデニッシュ販売（11月27日、ローソン平取本町店）

平取高等学校フードデザイン科の生徒が考案したパンがローソンとのタイアップで商品化され、販売初日には店頭分が売り切れるほどの大盛況となりました。

句 俳 実 の 楯

神仏に此の身委ねて初暦	柴田 紫梢
又も早や年の暮かと溜息も	渡辺 正子
除夜の鐘一人で歩む八十路坂	吉野千佳女
健康を切に祈りつ初日かな	内海アヤ子
羽子板を飾りて幸を願いけり	中道 サト
鹿柵を畑にめぐらし年新た	山崎 喜峰
初詣かって健脚阿呷の日	清水 眞子
軒下に薪つみ上げてコタン宿	西塔しずえ
二人して八十路なかばや年明くる	石森 礼子
たこ糸を調べて孫の年の暮	遠藤 紫光
賜りし余生を減らし年迎う	井内 青風

町の人口	人口	5,564	(▲ 6)
	男	2,681	(▲ 5)
	女	2,883	(▲ 1)
	世帯数	2,603	() 1)
	外国人住民数	133	

()内は前月比 11月末現在

発行：平取町役場 編集：総務課広報広聴係
この広報誌は資源保護のため再生紙を使用しています。